



フクロウの会（福島老朽原発を考える会）のブログ…<http://fukuro.txt-nifty.com/fukuro/>

もくじ

大飯原発破砕帯問題で規制庁と初の交渉	2
福島医大、甲状腺検査で「セカンドオピニオン妨げない」と明言	2
福島ほかほかプロジェクト第3期がスタート/ユーストFFTⅤ	3
パンフレット紹介	4
どなたでもご参加できます	4
福島ほかほかプロジェクト	4
活動日誌（8月18日～10月18日）	4

フクロウの会

(福島老朽原発を考える会)

●フクロウの会は放射能汚染や事故の心配がなく、放射性廃棄物を生み出さない社会、すなわち原発のない社会をめざして首都圏で活動を続けてきた団体です。

●今回残念ながら福島で重大な事故が起きてしまいましたが、事故による人々の被ばくが少しでも少なく抑えられるよう事故直後から情報提供、放射能測定プロジェクト、国や自治体への働きかけなどの活動を行ってきました。

●そんなフクロウの会の様々な活動を支えるための会員・サポーター・資金カンパ募集中です。ご協力いただけますと幸いです。

【カンパ送り先】

- ゆうちょ銀行からの振替
- 口座記号番号
00130-9-655439
- 口座名称（漢字）
福島老朽原発を考える会
- 口座名称（カナ）
フクシマロウキウゲンバツヲカンガエルカイ
- 他の金融機関からの振込
- 銀行名＝ゆうちょ銀行
- 金融機関コード 9900
- 店番 019
- 預金種目 当座
- 店名 ○一九店（ゼロイチキユウ店）
- 口座番号 0655439

大飯原発破砕帯問題で規制庁と初の交渉

10月5日、大飯原発の断層調査などについて規制庁と初の交渉を行いました（主催：フクロウの会/FoE Japan/グリーン・アクション/美浜の会）。約120名の市民、国会議員と渡辺満久氏（東洋大学教授）も参加されました。政府側からは、小林勝氏（規制庁安全規制管理官）他2名が出席しました。

大飯原発調査団に渡辺満久氏も参加

まもなく行われる原子力規制委員会による大飯原発の断層調査への立ち入り調査について、規制委員会は島崎邦彦委員長代理を中心に調査団の人選を行っていました。交渉の段階では、4つの学会（日本活断層学会、日本地質学会、日本第四紀学会、日本地震学会）から推薦を受けた専門家から選定するとし、推薦を待っているところだという回答でした。私たちはこれまで警告を繰り返し続けた渡辺氏を調査団に加えるよう強く求めました。その後、大飯原発の調査団の人選が発表され、4人の調査団のなかに渡辺氏も入りました。まずは一歩前進です。

断層調査は原発を止めて行うべき

交渉では、しっかりと断層調査のためには、大飯原発を止めて調査すべきだと求めました。敦賀原発の断層調査では、掘削時に、地下埋設配管に穴をあけてしまう事故が発生しています。渡辺氏が大飯原発敷地内を視察した際に、3つのトレンチ掘削地点を指摘していましたが、関

電の調査計画ではトレンチ調査は2地点だけです。小林管理官は「渡辺氏の指摘する3地点は緊急車両などが通る地点で運転中には掘削できない」「運転中でもしっかり調査はできる」を繰り返しました。最終的には「追加的には2地点以外の調査もあり得る」と答えました。

12万～13万年前以降に動いたものはすべて活断層と評価すべき

保安院は、断層を主断層、副断層、弱面の3つに分類し、弱面の場合、ずれの大きさを評価し、小さければ考慮しなくてもよいとする考え方を示していました。田中委員長や島崎委員は報道のインタビューで、ずれの大きさの正確な予測は難しいためこれを採用せず、断層が13万～12万年前以降に動いたかどうかで評価するとし、「弱面」の考え方を否定する発言をしていました。

ところが交渉で小林氏は、保安院の「弱面」の考え方を否定せず、断層のずれが施設に与える影響の大きさを判断すると発言し、規制委員の発言を否定しました。

交渉において、私たちは、活断層の評価にあたっては、12万～13万年前以降に動いたもので、「断層運動が原因であることが否定できない場合」には活断層と認めるという「発電用原子炉施設の耐震安全性に関する安全審査の手引き」に従っても、弱面の考え方は認められず、12万～13万年前以降に動いたものはすべて活断層と評価するよう求めました。



大間原発の工事の中止を

電源開発が大間原発の工事再開を表明したことについても問題になりました。大間原発の敷地内にも活断層があることを渡辺氏らが警告しています。工事の中止と活断層の再調査を求めました。

交渉に先立って、9月29日に原子力規制委

会委員長宛てに質問・要望書を出していましたが、規制庁の官僚は、この質問・要望書を委員には一切見せず、相談もせずに回答を作っていました。交渉後、規制委員会で正式に議論をして回答するよう求める再質問・要望書を提出しました。

福島医大、甲状腺検査で「セカンドオピニオン妨げない」と明言

フクロウの会ブログ記事番号【278】をもとにまとめ

福島9団体とともに再度の要望

9月13日、甲状腺検査結果の情報開示問題で福島県立医大の山下俊一氏に再度要望書を提出しました。これは7月23日に第1回に提出した要望書に対する福島医大側からの回答に対して、再度の要望書として提出したものです。前回と同様、「ふくしまWAWAWA一環・話・和一の会」、「生活クラブふくしま生活協同組合」、「福島老朽原発を考える会」他9団体によって行われました。



▲手前側2人目が松井史朗特命教授

7月23日に提出した要望書の内容は、福島の県民健康調査の一環として実施されている18歳以下の子どもの甲状腺検査について、被験者への検査結果の詳細開示や統計的データの開示、次回の検査まで2年以上も待たせる体勢の転換などを求めたものでした。また、山下氏が今年1月、甲状腺学会で事実上セカンドオピニオンを禁止するよう求めて

いると読める文書を配布したことを受けて、各人が他の医療機関でも検査が受けられるようにも求めていましたが、納得のいく回答を頂くことができず、再提出となりました。

「セカンドオピニオン妨げない」と広報確約

再提出行動に対しては、山下氏は「日程の都合がつかない」と出席せず、同大放射能医学県民管理センター広報部門長の松井史朗特命教授に対応して頂きました。今回の再提出行動でもっとも大きな前進は、今回の要請で大きな前進は山下氏が甲状腺学会に流した文書はセカンドオピニオンを妨げる趣旨のものではないということを書きおおよびホームページで公開することを約束した点です。対応した松井教授は9月中にはHPで公開すると約束しました。また甲状腺学会など、前回文書を配布したところへ文書として流すことも了解しました。その他、甲状腺検査結果の情報開示の簡略化、エコー画像の電子データでの配布などについて県と協議中であることを明らかにしました。一方で、再検査までの期間の短縮については議論は平行線にとどまりました。

今後とも要請と交渉を続けよう

結局、セカンドオピニオンを認めさせること、情報開示の方法など具体的な点でいくつかの前進はあったものの、「早期発見・早期治療」を求める県民の要求と県民健康管理調査が根本のところでは大きな離れがある点についての解消には至りませんでした。要請団体・参加者は今後とも粘り強く要請と交渉をしてゆくことを確認しました。

ぽかぽかプロジェクト第3期がスタート！

フクロウの会ブログ記事番号【282】、避難の権利ブログをもとにまとめ

2012年1月、福島市渡利地区の家族を対象に始まった、土湯温泉での一時避難・保養プロジェクト、「福島ぽかぽかプロジェクト」が、第2期を終えて、第3期を始めました。

第2期は、対象地域を福島市渡利地区から福島市、伊達市、伊達郡全体に拡大し、保養とヨガ、折り紙教室といったイベントに加えて、放射能についての連続セミナーも行いました。5月第2週から6月末日までに、延べ140組678人が参加。加えて、夏休み企画として「南房総青少年キャンプ」との協力で、「千葉県南房総の海と里山で遊ぼう」を8月、25人の福島の子どもの参加で行いました。

そして9月29日、第3期（～12月）がスタートしました。

初回は、土湯峠の鷲倉温泉に11組38人が宿泊。東京からはスタッフ4名が参加。子どもたちは外で思い切り遊んだり、折り紙やお絵かきを楽しみました。

セーブわたりキッズの菅野さんが合流し、夕食後、親御さん方と懇談会。仕事の関係で避難できないのでこのプロジェクトは助かる、ぜひ継続してほしい、という声や、南向台では今週末、除染が行われているので助かった、などの声がありました。

菅野さんや東京のスタッフからは、福島に参加者のみなさんにも座談会のコーディネートや子ど



もたちと遊ばせるスタッフとしても参加していただけなら、と話しました。その後何人か、子どもを遊ばせるのならできそう、と一言くださる方もいたとのこと。

翌日のお天気は快晴。土湯峠から磐梯吾妻スカイラインで30分ほど足を伸ばした浄土平に、3家族のみなさんとミニハイキングに行きました。

スタッフの一人、FoEの吉田明子さんは、「今後も、こうした参加者の声を寄付を下さっているみなさんに伝え、また全国のみなさんの関心やご好意について、福島に参加者のみなさんにも伝えていくことが重要だと実感した」とのことでした。

ぽかぽかプロジェクトは、全国のみなさんの暖かい寄付をいただき、主催団体のスタッフ・ボランティアスタッフが草の根的に運営しています。今後ともご支援、ご注目をよろしくお願い致します。

☆☆

フクロウ・FoEチャンネル（FFTV）が始動！

原発のない社会を目指して、ふくろうの会とFoE Japanがユーストリーム放送「週刊FFTV」を始めました！すでに、9月10日の第1回「ここが問題原子力規制委人事（1）一国会同意なしの総理任命は許されるのか？」から始まって、大間原発、大飯原発断層、甲状腺検査、ベトナムへの原発輸出問題などをテーマに、10回の放送を行なっています。今後の予定については、フクロウブログのほか、twitter「フクロウFoEChannelFFTV」でもご確認頂けます。基本的には、毎週水曜日、夜8時から放送しています。ぜひご覧下さい！



◇フクロウの会発行のパンフレット紹介◇

※入手ご希望の方には1部500円+送料実費でお送りします。
フクロウの会までメールでパンフ種別・冊数・送付先をご連絡下さい。
パンフレットに関する専用メールアドレス:kaoki18014@gmail.com

活動日誌
(8月18日～10月18日)

8/18 「尿検査・ACROの活動の報告集会 - 子どもたちの尿検査から見えてきた放射能汚染の実態」

8/31 規制委人事撤回を求める経産省前行動

9/5 規制庁準備室と交渉

9/11 規制委委員の総理任命の閣議決定に抗議する緊急声明を発表

9/13 甲状腺検査結果の情報開示について福島県立医大の山下俊一氏に再度要望書を共同提出

9/19 規制委員会の人事強行に抗議する緊急声明を約120団体とともに発表。

9/28 規制委員会前で抗議アピール

10/3 ほかほかプロジェクト第3期スタート

10/5 大飯原発破砕帯問題などで規制庁と初の政府交渉

10/15 Jパワー本社前で抗議行動

10/18 福島県健康調査「秘密会」問題で記者会見

※他団体との共同活動を含みます。

続・子どもたちの尿検査から見えてきたもの

子どもたちの未来を守ろう！広がる子どもたちの内部被ばく - その低減のために2012年2月中旬までの検査結果、初版発行時には得られなかった新たな知見を盛り込んで続編を発行しました。

発行：2012年4月13日／福島老朽原発を考える会（フクロウの会）

♪どなたでもご参加できます♪



フクロウカフェ♪

原子力規制委員会が発足したけど、何が変わるんだろう？ 私たちの生活や子どもの未来を守りたい…原発や福島の現状について話し合う「フクロウカフェ」を不定期で開催しています（前は9月8日）。

参加費300円でお茶とお菓子付きです。疑問や不安、私はこう思う！といったことをみんなまで出し合ひましょう。今後の予定はフクロウブログでご確認ください。



福島ほかほかプロジェクト～福島の子どものための保養の実現に力を貸してください

◆福島ほかほかプロジェクトについて

<http://hinan-kenri.cocolog-nifty.com/blog/cat49338690/index.html>

福島ほかほかプロジェクトはみなさまの寄付で支えられています。ぜひ、引き続き、ご支援をよろしくお願いいたします。

◆オンライン寄付はこちらから

https://mp.canpan.info/foejapan/products/detail.php?product_id=3573

<お振込み口座>

(東邦銀行とゆうちょ銀行に、独立した口座を開きました)

1) 東邦銀行本店・普通口座 3697748 口座名義：わたり土湯ほかほかプロジェクト 代表 菅野吉広 (かんのよしひろ)

2) ゆうちょ銀行・記号 18230・番号 29132261 口座名義：わたり土湯ほかほかプロジェクト

口座にお振込後、下記の申込フォーム又はFAXで、1)お名前(団体名)、2)金額、3)連絡先、4)メッセージ、5)お名前・メッセージのブログ上での公開可否などをご連絡下さい。

<https://pro.form-mailer.jp/fms/1715ebc124776> FAX: 03-5225-7214

フクロウの会では、会員募集中です。

【会費】

会員 1000円/月 サポーター 1000円以上/年

●集会でのスタッフやパンフ作成のご協力など一緒に活動していただける方を募集しています。

皆さまの貴重なご意見もお待ちしております。

【お問い合わせ・お申し込み先】

TEL/FAX: 03-5335-7213 Email: fukurounokai@gmail.com

(通信郵送のお申し込みもこちらで受け付けています☆ご希望の方はお知らせください。)

